

さいたま市誕生10周年記念

浦和博物館特別展

日光御成道



平成23年

10月4日(火)~12月11日(日)

【開館時間】午前9時~午後4時30分

【休館日】月曜日

10月11日(火)

11月4日(金)・15日(火)・24日(木)

※10月10日(体育の日)、11月14日(県民の日)は開館

【入館料】無料

さいたま市立浦和博物館

住所:〒336-0911さいたま市緑区三室2458 TEL・FAX:048-874-3960

交通:JR京浜東北線北浦和駅東口から、東武バス「市立病院」行き15分、
終点下車すぐ



このチラシは6,000枚印刷し、1枚あたりの印刷コストは17円です。

浦和博物館特別展

日光御成道

江戸幕府を開いた徳川家康は、没後、日光東照宮まつに祀られました。「日光御成道」は、歴代将軍が日光社参の際、岩槻城に宿泊したため、江戸から岩槻を経て日光に向かう経路として整備された街道です。

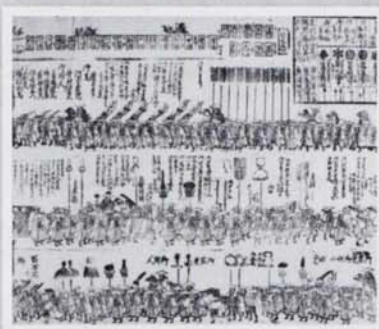
将軍の社参は江戸時代中頃から少なくなりましたが、岩槻などの宿場は近隣の産物が集まる商業の中心地でもあったことから、こうした宿場と江戸とを結ぶ日光御成道は、経済や文化交流の動脈にもなっていました。この「日光御成道」と、市内の大門宿、岩槻宿、街道に隣接する「野田のさぎ山」など、周辺地域の歴史や文化について紹介します。

展示構成

- ・日光御成道のなりたちと経路
- ・将軍の日光社参
- ・宿場町・大門
- ・野田のさぎ山
- ・城下町・岩槻
- ・近代の日光御成道



さぎ山の記并歌(さいたま市指定文化財) ※11月8日(火)より展示



日光社参の供奉行列
(幸手市指定文化財金子家文書・写真提供 幸手市教育委員会)



房川御船橋図

展示期間

前期 10月4日(火)~11月6日(日)

後期 11月8日(火)~12月11日(日)

前期・後期で一部の資料の入れ替えを行います

関連講座

特別展関連講座 「日光御成道周辺地域のくらし」

日光御成道の周辺の地域のくらしについて、鷹場やさぎ山との関係、将軍や大名の通行による負担のようすなどを中心に紹介します。

講師 根崎 光男 氏(法政大学教授)

日時 11月23日(水・祝) 14時~15時30分
お申込み:11月5日(土)9時から、電話で浦和博物館へ
浦和博物館 048-874-3960

会場 浦和コミュニティセンター9階 第15集会室

参加費 無料

東浦和図書館連携講座 「日光御成道を探る」

浦和博物館学芸員が、日光御成道や開催中の展示について紹介します。

講師 浦和博物館学芸員

日時 10月14日(金) 14時~15時30分
お申込み:10月4日(火)9時から、電話で浦和博物館へ

会場 東浦和図書館イベントルーム **参加費** 無料

学芸員による展示解説

日時 11月12日(土)・12月3日(土) 11時~14時~(各30分程度)

会場 浦和博物館 **参加費** 無料